

(様式2)

令和5年度佐賀大学研究者国際交流支援事業報告書

令和6年4月14日

国際交流推進センター長 殿

事業責任者（申請者）

所 属 理工学部
職 名 教授
氏 名 嘉数 誠

下記のとおり令和5年度佐賀大学研究者国際交流支援事業の実施結果について報告します。

1.国際研究集会名	第4回ダイヤモンドデバイスワークショップ		
2.事業責任者 (申請者)	嘉数 誠	3.所属・職名	理工学部・教授
4.開催期間	令和 6年 1月 26日		
5.申請区分	A) 学術交流協定（大学名） B) 共同研究 C) 一般		
6.参加者数 ※参加者名簿（別添） を添付	参加者数 33 名 内、外国人数 10 名、研究者数 14 名、 学部学生数 3 名、修士以上学生数 15 名		
7.招待講師	所 属 マサチューセッツ工科大学(MIT) 職 名 教授 氏 名 Michael Geis		
8.支出額	金 額 200,000 円 【内訳】 謝金 20,000 円 旅費 円 消耗品費 180,000 円		
9.国際研究集会の内容（実施の様子について、2～3枚程度写真をご提供ください） (相手国・地域：米国 相手機関：マサチューセッツ工科大学(MIT))			



10.事業実施による成果・今後の事業の発展等

今回は、佐賀大側から、ダイヤモンド半導体デバイス開発の現状を説明し、米国側から MIT のダイヤモンド半導体デバイスの現時点の成果と技術的問題について、議論を闘わせることができた。参加者は、理解を深め、自らの責任を痛感することができた。

日本側も、JAXA の冨木先生や呉高専の江口先生が佐賀大で参加され、密に研究の打合せもすることができた。

新年度からダイヤモンドコンソーシアムの活動の一つとして興味ある企業の参加を促し、さらに発展させ、継続させていきたい。お陰様で、本ワークショップは、JAXA との宇宙加速化事業の審査において、文部科学省から高く評価を受けました。

11. 実施者アンケート

本事業の満足度（5（非常に良い）～1（非常に悪い））：5

支援経費は適切であったか（5（非常に適切であった）～1（非常に適切でなかった））：5

次年度以降も本事業の実施を希望するか（希望する・希望しない）

そのほかコメント：

※欄内に収まらない場合、適宜、行を追加し、ページを増やしていただいても構いません。

※写真は学内外へ発信する広報に活用するため、映っている方々からの使用許諾済みのものをお送りください。また、写真データ（jpg または png）の送付をお願いいたします。（Word 貼付けとは別に）